

●15日は「敬老の日」

わたくしたちは
だれにも親切にしましょう
(市民憲章から)

ととり歳時記

— <9> —

摩尼さん参り

近所隣りが誘い合う

彼岸詣では先祖の墓参り、摩尼寺参りと思
っていた。老人も幼児も一家揃って墓参し、
一つ一つ墓碑に手を合わせ拝み、いつしか家
系が身についてくるのであった。

摩尼さん参りは、つとめて近所隣りが誘い
合った。国道9号線、覚寺への分岐点に大き
な石の道標が立って「右帝釈天出現地摩尼寺

道、左但馬」。ここから摩尼川に沿って一本
道。覚寺部落入口に石地藏群があり、その一
つに二十六丁とある。坂根橋を渡り、川の左
に右に道は山のかもとを爪先上りとなる。塔、
塚、碑がつぎつぎに点在している。谿流は岩

に激し岸を打ち滝状のところ「継子落しの滝」
である。しばらく行くと南に鶏山、この山に

金の鶏あり、その鳴き声をきけば福力を得、
されどきたりというものをきかず、との伝
説がある。このあたりから梵鐘の妙音がきこ
えはじめ、やがてはるか山の中腹に寺の赤い
屋根が見える。石段はうっそうたる杉の並木
の間を三百六段、いかめしい金剛力士の仁王
門の階上には釈迦と十六羅漢が安置されてい
る。山門の前の石柱に「不許葷酒入門内」。

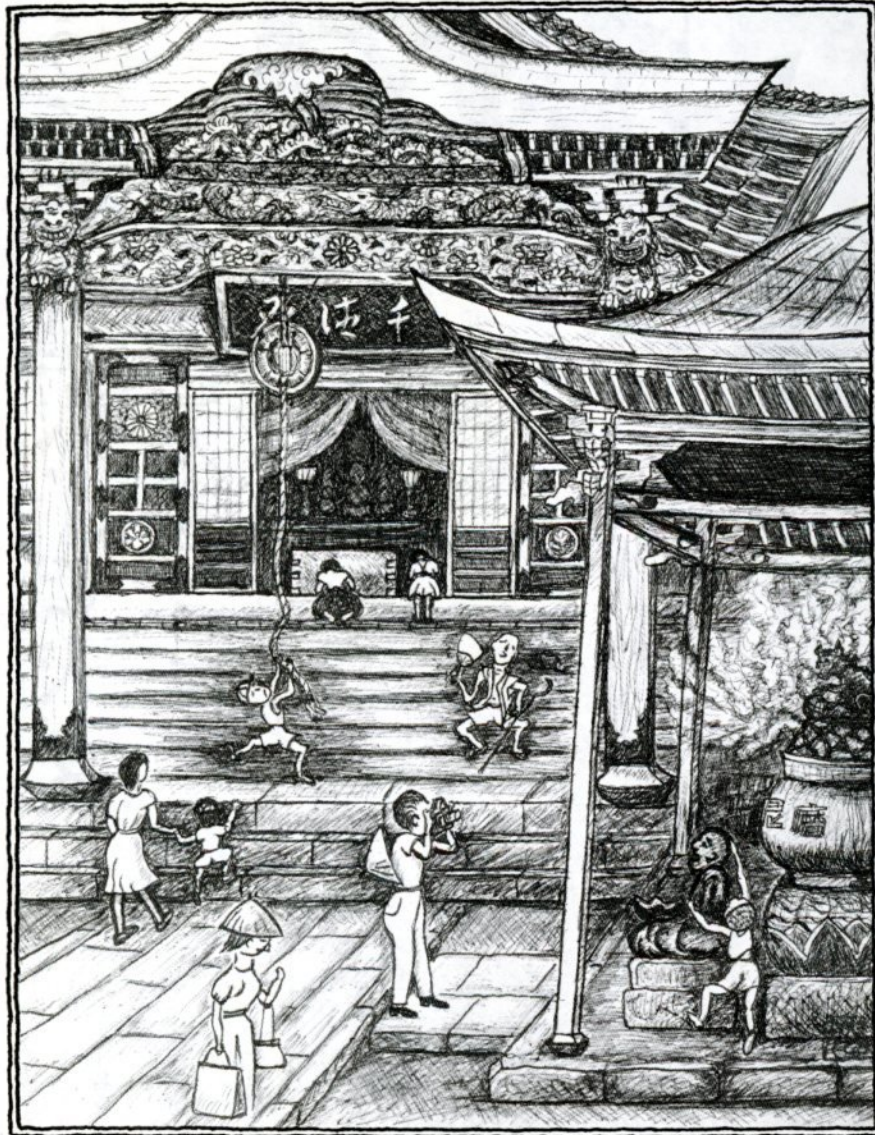
第五十四代仁明天皇のころ、承知年間、慈
覚大師創建、本尊帝釈天、喜見山摩尼寺は因
幡第一の霊場。近国からも大勢の善男善女が
集まる。正面に本堂、階段下右に、撫で仏と

いわれるヒンスルさん、近くに秀衡杉、歯痛
に効ありといわれている。念誦楼に入って梵
鐘を撞く、その下でねがいをこめて合掌。間
魔堂は恐れと、奇異の感にうたれて覗いた。
三祖堂は慈覚大師、伝教大師、弘法大師をまつ。
攝取殿には長野の善光寺の分身如来が
祭つてある。三界万霊地藏堂のまわりには数
十基の地藏。この上の道を奥の院へ行く、

約二時、たまに奥の院参詣もよい。何鳥か啼
く道々、数か所の石地藏。
摩尼山の頂上、見事な立岩、うぶみ長者伝

説の帝釈天が降りてこられたところ。
三百五十五段、この付近の最高峰ではるかに
日本海、因幡国原が望まれる。奥の院は南面
の洞窟の中に不動明王が安置されている。
石段下の茶屋には摩尼名物田楽、今は山菜

料理。茶屋の裏には秀吉鳥取城攻めに反対し
寺を焼かれ憤死した道好和尚の墓、そして、
稲場民談記の著者小泉友賢の碑がある。



文・下田 一清 (歌人)
絵・山田 悠光 (金庫店店主)

ようこそ 皇太子ご夫妻

献血推進大会にご臨席

砂丘の家などご視察



皇太子ご夫妻は七月十九日、第十四回献血運動推進全国大会式典にご臨席のため、鳥取市においてになり、翌二十日にはサイクリン

▲サイクリングに出掛ける富桑小の生徒たちを見送られる皇太子ご夫妻 (砂丘の家で)

グターミナル、鳥取砂丘こどもの国などを視察され、大勢の市民の歓迎を受けられました。式典は十九日午後一時三十分から市民会館大ホールで血液事業関係者約千二百人が参加して行われました。小澤辰男厚生大臣らのあ

いさつその後、金田市長が歓迎のあいさつをしました。次いで、日本赤十字社名誉副総裁の皇太子妃殿下が献血に功労のあった代表者四人に日赤有功章、特別社員章を授与されました。そして、同じく日本赤十字社名誉副総裁の皇太子殿下が「今後さらに献血運動が人間の愛の表れとして、善意の輪を広げ、国民の福祉に十分の役割を果たすことを期待します」とお言葉を述べられました。

市長の説明をお受けになり、富桑小五年生の生徒たちの研修の様子をご視察になりました。まず、男子生徒が砂丘周辺のサイクリングに出かけるのを見送られ、研修室では女子生徒が五班に分かれて、ターミナルでの生活態度について話し合っている様子をご覧になり、生徒たちに「楽しんでくださいね」と声をかけておられました。この後、二泊三日の鳥取県ご視察を終えられた皇太子ご夫妻は、午後四時二十分、特別機で鳥取空港をお立ちになりました。

中央病院跡地に文化センター

12月着工 まず「市民ホール」

吉方温泉三丁目にある県立中央病院跡地は「鳥取文化センター」として利用されることになり、市民ホール、児童館、図書館の三施設で構成、十二月には、市民ホールの建設に着手されることになりました。

市民ホールは、地階に練習室三室、一、二、三階は五百人収容の小劇場、二階には展示室が設けられます。広さは約二千三百平方メートル。着工はことし十二月で、完成は五十五年三月の予定です。五十三年度は敷地購入と整地・基礎工事が行われ、本格的な建設工事は五十四年度になります。

この文化センターは、鉄筋コンクリート造り、地上三階、地下一階建てで、市民ホール、児童館、図書館の三施設合わせて、延べ面積は約六千平方メートル。敷地面積は約八千二百平方メートル。施設周辺には緑地、広場を設け、市民いこいの場としても活用されることになった。開始される市民ホールについて、

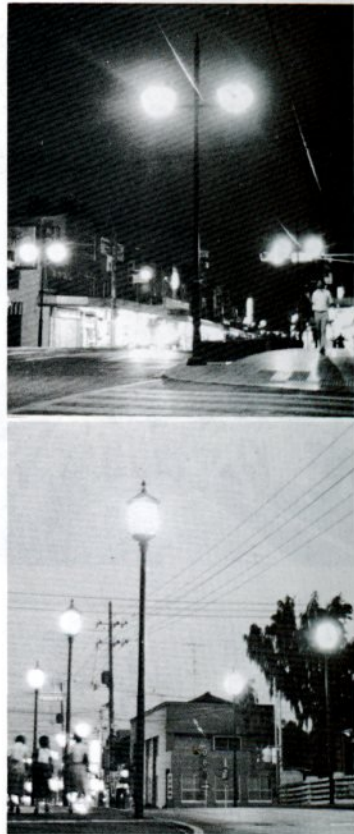
構想研究会委員三人に、ホール利用者七人を加えた構想研究会小委員会での検討、意見交換が行われ、次の通りその建設構想がまとめられました。市民ホールは、五十四年度設計、五十五年度建設が予定されており、今後、構想研究会小委員会での施設内容の検討が行われます。



富桑小の生徒たちの研修の姿をご覧になる皇太子ご夫妻 (砂丘の家で)

若桜、智頭両橋に照明灯 ガス灯、で風情添える

昔の風情を、らし出しています。若桜橋には建設省が取り付け、智頭橋に「ガス灯」風の照明灯が設置され、橋上を明るく照らしています。一方、智頭橋には市が設置、高さ五呎のポールに青銅造りの六角形の照明灯が両側歩道に三基ずつ計六基取り付けられており、明るさは一基二百ワット。しゃんしゃん祭では踊り子の姿をくつきりと浮かび上がらせていました。



▲新しく設置されたガス灯、風の照明灯。上が若桜橋の2灯型のもの。下は智頭橋のもの。

桜谷に中学校新設

55年度開校めざす

一面影、津ノ井、米里三地区と国府町の生徒が通っている組合立邑法第一中学校は五十四年度いっばいで解散、閉校が決まっております。市と国府町はそれぞれ五十五年開校を目指して、新設中学校の建設に取り掛かっています。

新設中学校（校名未定）は桜谷地内に五十三、五十四年度の二年間で建設されることになっており、初年度の五十三年度には、約一億五千万円の事業費で、鉄筋コンクリート造り三階建て、延べ面積一千二百九十五平方呎の校舍（普通教室十室と特別教室三室）を建設。五十四年度には、残りの普通教室二室と特別教室四室、それに管理室を建設するほか、鉄骨平屋建て一千二十七平方呎の体育館と、二百五十平方呎の武道館を建設する予定で、水泳プール（二十五呎、六コース）も計画にはいっています。

不安のない上水道に思う

今夏は大変な猛暑と干天が続いた。せめてもの救いは水道の水がふんだんに使えたことだ。あちこちの水不足の報道で市民からも感謝して頂いた。

水道は常に需要を見極め施設を整備すべきで、いかに豊かな水があっても取水施設が不足すればどうにもならない。

鳥取の水道は先人の努力で早く整備された。国府町美郷に大正四年にダム式水源地完成し、井戸などで賄われていたが近代的上水道に切り替わった。その後、源太橋詰めその他に施設が増設された。しかし、昭和二十八年の大合併などによ

市政雑感

(79)



金田裕夫

り増大する需要に対し大掛かりな水源を必要とし、入江昶元市長が豊かな千代川で汚れやすい表流水を避け、叶地点で伏流水（地下を流れる水）の大規模な取水

に着手した。数次の拡張を重ね、四十二年からの第六回拡張工事で一日配水量を六万八千ポンドまで拡大したが、これ以上は困難で四十九年に向国安に第二の水源を確保することとし建設省に許可を求めた。建設省は国府町殿ダムで水道が費用を負担する計画だが、コストの安い千代川の水が確保されるとダム建設に支障が起これとの懸念で難航を極めた。そこで殿ダム完成後は取水し費用も負担する、と私の名で約束書をだし、一日五万八千ポンドの水を頂くこととなり、ようやく四十九年秋に着工した。

工事は順調に進んだが、突如として泥土層に突き当たり、泥水が吹き出し止まらない、大変だ。取水の場を全面的に替えれば数億円の損失である。技術陣は顔

色もなかった。中央の専門家を招き、取水地点の一部変更でようやく清水を得た。こうした苦勞もあったが、昨年七月この向国安工事が完成し、これで叶と合わせる。と一日十二万六千ポンドの取水施設が完了した。今、需要が一日七万ポンド前後なのでかなり余裕がある。

今後の見通しでは殿ダムで一日二万ポンド頂けば七十年までは大丈夫。次いでまだ豊かな千代川で第三の水源を得れば上水は長期的に不安はない。工業用水は殿ダムからも計画され、また農業用水の転換で賄い得る。こうして当地が水源に恵まれるのも千代川をはじめ水が豊かだからで、これは河川上流の山地の植林などで水源涵養の努力の賜で、感謝しなくてはならない。

(市長)

8日に総合防災訓練

「震度6の地震発生」を想定

遷喬小、太平線中心に

午前10時から2時間

市は県と共に
催で、九月八
日(金)午前十
時から正午ま
での二時間、
総合防災訓練
を実施します。

この訓練は、
災害時におい
て応急対策が
的確、迅速に
行えるように
なることと、
市民に防災へ
の関心を高め
てもらうため
のもので、実
施場所は遷喬
小グラウンド、
鳥取大丸、太

平線(県道停車場川下線)、瓦町
ロータリー周辺(今町一丁目)の
ほか、公園、学校グラウンド、旧
袋川堤防など二十一町内防災会の
避難場所。参加、協力機関は県、
市をはじめ、県教委、東部広域消
防局、県バス協会、市自治連合会、
各町内防災会(二十一団体)など
四十三の団体です。

訓練は「午前九時五十分ごろ、
震度6(マグニチュード7.4)
の地震が発生。このため、市内で

家屋の倒壊など多大な被害が生じ、
数カ所で火災が発生したので、住
民は公園、学校グラウンドなどの
指定避難場所に避難中。県、市は
直ちに災害対策本部を設置して災
害救助法を発動するとともに関係
機関に協力を要請した」との想定
で行われます。

今回の訓練には三千二百人の参
加者が予定されていますが、自主
防災組織未結成の町内や各家庭で



バケツリレーで消火訓練(川外通りで)

も、この機会に防災について話し
合ったり、避難・消火訓練などを
行いましょう。

訓練内容は次の十種目です。
〔災害対策本部設置訓練〕十時
正午、遷喬小で。

〔避難・避難誘導訓練〕十時
十分五分、各保育所、幼稚園、
小・中・高校をはじめ、各防災会、
遷喬小周辺事業所、鳥取大丸、県
庁、市役所で。

〔初期消火訓練〕十一時正午、
遷喬小と各防災会避難場所。消
火器、水バケツを使用して、建物
参加は100人
初の防災訓練
弥生町1区防災会
七月十六日、弥生町一區防災会
(熊田信一会長、九十五世帯)は
防災会結成(五十三年五月)後、
初の防災訓練を実施しました。
訓練開始は午前八時。「マグニ
チュード7の地震が発生、交通マ
ジ、道路寸断など外部からの援助
は望むことができない状態となり、
倒壊家屋多数、けが人数人、火災
も数カ所で発生」との想定で始ま

火災、油火災、プロパ ガス引火
の消火訓練。

〔給水・炊き出し訓練〕十時
正午、遷喬小で。給水車による飲
料水の供給、主食の炊飯、盛り付
けなど。

〔情報連絡訓練〕同、遷喬小、
大丸周辺、各防災会で。避難、誘
導、被害の状況など本部へ通報。
本部から各防災会などへも避難な
どの指示を通報。自衛隊ヘリコプ
ターが被害状況を偵察、情報提供。

〔医療救護・救急訓練〕同、遷
喬小、鳥取大丸、瓦町ロータリー
周辺、元町で。救急車が出動、負
傷者を救護所(遷喬小)に収容し
て手当と看護。

〔高層ビル火災消火・救助訓練〕
十時十分五分、鳥取大丸、太平線
の操作方法などの指導を受け、九
時三十分訓練を終えました。

訓練を終わって熊田会長は「訓
練をやっても、ピンと来ないだろ
うと心配していたが、訓練後、消
火器購入の申し込みが三十件もあ
るほどで、防災への認識もい
くらかは深めてもらったように思
う。何と言っても、一人ひとりの
認識が大切なので、今後も防災映
画会、消火器使用訓練など色々な
防災行事を組んで、ふだんから防
災への関心を高めてもらうよう、
万全を期したい」と話していまし
た。

で。大丸から出火を想定、初期消
火活動、消防車による消火。救助
袋による避難訓練のほか、ヘリコ
プター、はしご車による救助。

〔倒壊家屋火災消火・救助訓練〕
十時二十五分同時四十五分。今
町一丁目地内の倒壊家屋で出火を
想定、消防団が出動して消火する
とともに、倒壊家屋内の負傷者を
救助。

〔自動車火災消火訓練〕十時二
十分十分五分同時三十分、太平線
路上での自動車火災を想定、化学
消防車一台が出動して消火。後続
バス乗客の避難誘導。

〔障害物除去訓練〕十一時十分
同時三十分、太平線。炎上し
た自動車の除去と、倒壊した家屋・
ブロックべいの除去。

の操作方法などの指導を受け、九
時三十分訓練を終えました。

九月一日は防災の日です。そして、九月十日は昭和十八年に鳥取地震があった日です。イザというとき、被害を最少限にいとめるには、日ごろの心構えと準備が何よりも大切です。六月十二日の宮城県沖地震での教訓、平素の防災心得などを紹介します。この機会に、いま一度、わが家の防災対策について考えてみましょう。

◀六月の宮城県沖地震で倒れかけたブロックべい。今回の地震では、ブロックべいの下敷きになり圧死したケースが多かった。
(仙台市提供)



主な防災心得



〔避難場所、避難路の確認〕指定された安全な避難場所や避難路を確かめておく。

宮城県沖地震は六月十二日、午後五時十四分発生、宮城県で震度5（強震）を記録し、死者二十七人、重軽傷者一万八百八十一人を出しました。

宮城県沖地震の教訓

役立った携帯ラジオ

地震への備えや対応の仕方について、七月一日号の「市政だより仙台」紙上で紹介しています。

それによると、ふだんの備えとして、①タンスを少し壁から離し、くぎと針金で押さえた家はこわれ

なかった。タンスの上に重い物を置かないことも大切②数時間も続いた停電で、トランジスタラジオは情報源として大変役立った。懐中電灯、救急箱も欠かせなかった。保存食の蓄えも大事③都市ガスがとまり、煉炭コンロや火ばちが大活躍。電気コンロ、石油ストーブなども有効④災害時は隣近所の応援は頼りになる。もらい湯をしたり、食料品の交換や後片付けなど協力して行われた。ふだんからコ

ミニケーシヨンの輪を広げておきたいものだーとのこと。地震発生時の行動については、①消防局の調査では、九二の家庭ですぐに火を消しており、市民の意識の高さが被害を最少限にく

〔非常持出品の準備〕

①飲料水

②食料二、三日分③乾パン、かん詰、かん切りなど④貴重品類⑤現金、貯金通帳、印鑑など⑥懐中電灯、ろうそく、マッチ⑦トランジスタラジオ⑧下着一、二着、手ぬぐい、ビニールふろしき、細ひも、手袋、ちり紙⑨ヘルメットな

どの安全帽⑩応急医薬品⑪傷薬、胃腸薬、目薬、脱脂綿、包帯、ばんそうこうなど⑫赤ん坊のいる家

庭ではミルク、おしめなどーの持出品をリュックサックや非常持出品に入れるなどして、いつでも持ち出せる場所に備えておく。

〔避難後の連絡方法の確認〕地震が起こったときに最も心配なのは家族の安否です。家族全員で互いに連絡方法、連絡先を決めておく。

〔防災訓練への参加〕市や防災会が行う防災訓練に積極的に参加

だんからバケツなどに消火用水を用意。消火器も備えておき、正しい使い方を身につけておく。

●講演会●

地震とその予知

市は総合防災訓練を実施する九月八日（金）に、「地震とその予知」をテーマに講演会を開きます。

とき 九月八日、午後一時三十分～三時三十分

ところ 県庁講堂（東町一丁目）

演題 地震とその予知

講師 東京大学地震研究所教授、笠原慶一氏

い止めた②平坦地の木は全く倒れなかった。大きな木ほど根を張り安全③今回の地震での死者は、ほとんどがブロックべいの下敷きになり圧死したケースだった。へいや壁ぎわには近付かないことーなどと、この災害を教訓にしよう

と市民に呼びかけています。また、宮城県がまとめた今回の地震アンケート調査によると、地震への備えとして、九八の人は常備すべきだ、としてあげたものは①懐中電灯②トランジスタラジオ③ろうそく④非常用食料品⑤消火器、の順。地震後の情報源はラ

地震の心得 10カ条

- ①丈夫な家具に身を寄せる
- ②すばやく火の始末を
- ③あわてて外に飛び出さない
- ④火が出たら、まず消火
- ⑤避難は徒歩で、荷物は最少限に
- ⑥へいぎわ、川べりなどには近寄らない
- ⑦山津波、がけ崩れに注意を
- ⑧海岸は津波、低地では浸水に注意を
- ⑨余震を恐れず、デマに迷われない
- ⑩秩序を守り、衛生に注意を

座談会

まなびのつどい 市民の課題

鳥取市は現在、鳥取空港整備や循環バス問題など、市民生活に密着した重要な課題に直面しています。日ごろ市政の監視役として活躍している市政記者のみなさんと金田市長とで、将来構想をふまえながら、これらの課題のほか、防災、街づくりへの提言などについて話し合ってもらいました。

（文中敬称略）
 市の自主番組・日本海テレビ「市政の窓」から

空港整備は話し合いで

三津野 最初に、交通問題ですが、鳥取市は二つの問題に直面していると思います。一つは鳥取空港整備問題、もう一つはマイカー対策としての循環バス問題です。まず、鳥取空港の問題です。現在、大阪へYS11型機が就航していますが、このYS機は生産中止になっており、その耐用年数は昭和六十年だということですから、ジェット機が飛べる空港にしなければならなくなるわけです。日ごろ市長も「飛行

機が飛べなくなる空港にはしたくない」と、ご苦労なさっています。七月十二日のジェット機使用の飛行テストでは、意外というか、予想通りというか、賀露地区の反対がにわかに広がったような感じに受け取れました。もう一点の循環バスの問題ですが、これも計画が発表された直後に、バス運行により住民の生活環境を阻害するような狭い道路があり、その周辺の住民から反対があり、再び見直しが進められています。こういった二つの問題で共通して感じるところは、話が具体化するまでに、もう少し住民とのコミュニケーションが必要ではなかったか、ということですね。

資料提供など努力

修立小 移転

●出席者●
 （写真右から）

- 金田 裕夫市長
- 三津野 実さん 読売新聞記者
- 勝井 実雄さん 日本海新聞記者
- 前田 幸二さん 山陰中央新報記者
- 宮田 公爾さん 日本海テレビ記者

勝井 もう一つ鳥取市が抱える問題として、修立小の移転問題があります。これも、かなりの校区民の方が反対していますが、五月十年十二月に市校区審議会が「修立小の移転は望ましい」との答申を出し、市教委はこれを受けて、一年余りかけて計画をたてたわけですが、それまでに住民との話し合いが欠けていたのではないかと、それがために、今、「寝耳に水」という感じで、反対が出ていると思うのですが……。

三津野 世は情報化時代で、市民はより多くの情報資料を望んでいます。例えば、小学校の理想の広さはこれだけ必要で、鉄筋化しないといけない、騒音はこれだけに抑える、といったものを住民に示さないと、納得しないと思います。それを、〃やぶから棒に〃校

市長 これまで対話が足らなかつたのではないかと、いろいろ指摘がありました。私としてはできるだけ努力したつもりですが、地元の方々にとっては「まだ足りない」という感じであったのかもかもしれません。飛行場の問題ですが、近代都市として飛行場がないのは困るわけです。従って、現在の飛行場はジェット機が飛べない、将

来の、YS機もなくなる、ということとで、ジェット機の飛べる飛行場にしないでほしい、ということになるわけですね。これについては、全市民は歓迎すると思うのですが、一部の地域がそのために犠牲になる、ということでは困るわけですね。犠牲は最少限にとどめるよう対策をたて、地元と話し合いたいと考えています。

市長 確かに、審議会の答申が出た段階で、具体的に「修立小の改築が、なぜ今の場所では不適当なのか」について、十分に説明が

の十分固まった案ではなかったわけですね。従って、現在、日ノ丸、日交両バス会社を中心に関係各機関と運行コースを詰めており、成案を得てから関係の住民と話し合い確定したいと考えています。

現在、一部地域で「市内回り」ということで循環バスは走っていますが、この秋から駅高架となり、南北市街地の交通も便利になり、今後、南も大きく発展していくこととすし、全市的な循環バスも必要になってきます。従って、マイカー自粛運動を具体化する段階で、是非踏み切りたいと思います。

市長 そういうことでしょうか。修立小の場合では、これだけの生徒数には校地がこれだけいるのだ、現在の校地だけでは足りない、従って、周辺の住民の協力をいた



きたいと努力しています。住民からは今の校地のままで二階建てを三階建てにすれば何とかならんか、という意見もありますが、三階建てにすれば日照権の問題も新たに出てきますし、国道の騒音の問題もあります。これらをよく考えて、具体的に校舎を配置してみ、これができない場合は移転しなければならぬのだ、という具

体的な話し合いがないといけません。宮田 空港の問題にしても、修立小の問題にしても、その時の問題としてではなく、長期的な視野に立つてたてられた計画ですので、いいかげんなことで挫折しないで、根気強く説得していくということが一番必要だと感じます。それにつきまして、住民の方が

その問題について判断できる資料をふんだんに片寄りなく提供していくことも大切ですね。こんな時こそ、もったよきの細かい広聴活動も必要ではないでしょうか。市長 その辺が弱い所だと思えます。できるだけ、科学的な資料を整備して、住民の方に納得していただくように手立てを尽くしていきたいと思えます。

市長 六月十二日の宮城県沖地震のとき、仙台市では住民がまず火を消す、という慎重な行動をとったということです。被害を最少限に食い止めるには、住民の方がそういう心構えを身につけていたかどうかと思えます。三津野 もう一つ肝心なことは、昭和十八年の大震災を経験した人は五〇歳を切っています。若い人は体験していないです。万一人は体験していません。万が一のとき、体験者是对応できるでしょうが、若い人はどうかと思えます。訓練していくのも大きな課題ではないでしょうか。

広げたい自主防災の輪

宮田 九月八日には大きな防災訓練が予定されていますが、防災の面で、今、進もうとしている方向を示していただきたいと思えますが……。

行政に対して何でもやってみよう、という風潮が強いようですが、この運動は自分たちにもすることがあるのではないかと、ということ

市長 私は七十年を考えています。市長 私は大抵六十五年までに建設を完了できるのではないかと、と言っています。

市長 一つまとまった新しい街をつくるということになると、どうしても旧市街地とのパイプもつくらなければなりません。そこに住んで、そこで仕事をし、勉強する、ということになると、これまでのベッドタウンとは違った要素が出てきて、交通問題その他の色々な弊害を防ぎ得る、という考え方でニュータウン構想を打ち出したわけですね。現実にはうまくいかなかったかと思えますが……。

市長 防災の基本的な施策は、空地をつくり避難場所にするとか、街路を広げて、万一災害があった場合に安全に避難できるように通路を確保する、ということが肝心だと思えます。が、これも一朝一夕にはできませんので、都市開発などで逐次やっております。今後やらなければなりません。しかし、こういうことはすぐに対応できませんので、現在、対応できることとしては、地震が起きた場合には、どういう行動をとるか、家の中でどういう措置をとって、どう避難場所に行くか、というように一人ひとりが身につけなければ

ならないわけですね。こういうことで、各町内に住民の方を主体とした防災組織をつかっていただくようお願いしています。現在、二十一の防災会が組織されていますが、今後、できるだけその輪を広げていきたいと思っています。行政としては消防機能を充実するとか、防災知識をPRするとかのほかに、万一、災害が起きた時のために、食料、薬、水などを確保することにも対応していかなければならないと思えます。

市長 その辺が弱い所だと思えます。できるだけ、科学的な資料を整備して、住民の方に納得していただくように手立てを尽くしていきたいと思えます。

市長 私は七十年を考えています。市長 私は大抵六十五年までに建設を完了できるのではないかと、と言っています。

津ノ井にニュータウン

前田 次に、鳥取市の将来の街づくりについてですが、先ごろ、地域振興整備公団が中間報告をまとめたところによりますと、鳥取市の場合、開発の最適地として、津ノ井地区南部が浮かび上がっています。これは、津ノ井ニュー

心とするのか、工業立地を重点とするのか、またはこれらの併用型でいくのか、ということですが、肉付けのプランはどうですか。

市長 私としては、一つの新しい街づくりということで、住宅地を主体にして、そこで仕事もでき、勉強もできるという、住宅・事業所・学園の要素を加味した地域づくりを目指しています。

宮田 自主防災組織ですが、名前前からして、市民の間から自主的にできてくればいいわけですが、実態はお役所主導型でやっています。しかし、これは県下でも初めての試みですし、全国的にもかなり先取りのものだと思います。

市長 六月十二日の宮城県沖地震のとき、仙台市では住民がまず火を消す、という慎重な行動をとったということです。被害を最少限に食い止めるには、住民の方がそういう心構えを身につけていたかどうかと思えます。

市長 私としては、一つの新しい街づくりということで、住宅地を主体にして、そこで仕事もでき、勉強もできるという、住宅・事業所・学園の要素を加味した地域づくりを目指しています。

市長 私は七十年を考えています。市長 私は大抵六十五年までに建設を完了できるのではないかと、と言っています。

第14回しゃんしゃん祭

15万人でにぎわう

参加は43連、3200人



踊り子は史上最高の43連、3200人が参加（智頭橋上で）

会（谷口武吉会長）などでの祭り
総見直し後、初の祭りで、昼の部
も新たに設けられました。昼の部
は午後三時開始。まず、市中パレ
ードが行われ、パトントワラー、
小学校鼓笛隊ら約千二百人が遷喬
小智頭街道若桜街道のコース

ジャン、シ
ヤン、ジャン、
と夏の祭典、
しゃんしゃん
祭本祭りは十
五万人の観客
を集めて、八
月十六日に華
々しく催され
ました。

昨年からの
祭り振興研究



今回、初めて設けられた「おどり
広場」に出演した横枕かさ踊り保
存会の因幡かさ踊り

で行進、祭りのムードを盛り上げ
ました。歩行者天国となった若桜
街道にはおどり広場、うたとおど
り広場が設けられ、因幡かさ踊り、
因幡手踊り、貝がら節踊り、花が
さ踊りなどが披露されたほか、境
港保存会の荒神神楽太鼓、姫路市
有志の播州音頭も行われました。
若桜橋上の特設舞台では、のど自
慢、ものまね大会も行われ、大勢
の観客が詰めかけていました。
午後六時からは一斉しゃんしゃ
んかさ踊り。踊り子は史上最高の
四十三連、三千二百人が参加、若
桜街道片原通り智頭街道昭
和南通りのコースで、九時近くま
で、鈴の音を響かせて、華やかな
祭り絵巻を繰り広げました。
なお、前夜祭として十五日に予
定されていた花火大会は雨のため
十七日に延期して行われ、五万人
の観客は午後七時から二時間、花
火を楽しんでいました。

●座談会 地域社会における青年の役割 ①

八月号に引き続き、座談会
「地域社会における青年の役
割」を掲載します。出席者は
青年活動のリーダー四人のみ
なさんです。（文中敬称略）

◇ ◇

一団、サークルを持続さ
せるには、後に続くリーダー
が必要で、その養成も大事な
ことです。

稲村(女) 私たちのサーク
ルはリーダー育成に力を入れ
ていますが、行政もリーダー
研修会をどしどし開いてほし
いと思います。

稲村(男) リーダー育成の
場がほしいですネ。今のリー
ダー層は高年齢層になってお
き

〔出席者〕 50音順

稲村 淳一さん(二六)

第4回カーニバルとつと
り実行委員長

稲村有企子さん(二七)

サークル・ヤングフレンド
会員

大呂 隆則さん(三三)

鳥取青年会議所指導力開
発委員会委員長

河崎 要介さん(二五)

松保青年団団長

地域を盛り上げよう

り、後に続く人がい
ない、のが現状です
ネ。後のリーダーを
いかに育てていくか、
これからの問題点で
すネ。これでグルー
プなどの存続が決ま
るのではないでしょ
うか。

大呂 リーダーと
いうのは、グループ
の中で育てるもので
あって、行政で育て
られるものでないと
思いますネ。あくま
で、意識の向上は個
人で図るべきではな
いでしょうか。

稲村(女) リーダ
ーはグループでも育
てていかなければな
らないが、他のグル
ープのリーダーとの話し合いの場
があれば、勉強になるわけですネ。

河崎 他のグループと話し合う
ことは、グループ活動のマンネリ
化を防ぐことにもなります。その
ためにも、他団体の知識の吸収も
大事ではないでしょうか。

一 社会参加における青年の果
たす役割はどうでしょうかネ。

稲村(女) 青少年地域参加促進
大呂 青年の役割で一番大き

事業の「ふるさと運動」では若者、
成人、老人、子供が一体となつて
地域を考えていかなければならな
い、と言われています。例えば、
村での色々な行事が大人を中心に
行われており、若者は村のことを
知らない、ということがあります
ネ。大人が若者を育てていくとい
うことに関心がないと思います。
大人は大人だ、若者は若者でやれ、
ということを感じます。やはり、
地域に若者を残して村をよくして
いこうと考えるならば、若者が子
供会の世話をする、というのなら、
大人がそれに対して手を差し伸べ
て輪を広げていくというのでない
といけませんネ。大人の経験を生
かして、また若者の意見を取り入
れて地域を盛り上げていくという
ことも必要ではないでしょうか。
河崎 私の地域で地区祭をやり
ますが、主たる事は青年が実行委
員となってやります。その後につ
くものは婦人会であり町・区長会、
子供会などがあり、若い者が積極
的にリードしなければ決して大人
はついてこないし理解されないと
思います。地域の各種行事を実施
するについては町・部落全体の話
し合いが必要ですね。まだまだ十
分ではないですね。

市政短信

少年野球で城北小が優勝



は、城北、美保、賀露、日進、世紀、末恒、湖南、大正が残り、準決勝へは城北、賀露、世紀、大正が進出。城北は賀露に、世紀は大正にそれぞれ3-1で勝ち進み、決勝戦は、11-1で城北が世紀を敗り、5年ぶり2回目の優勝を飾りました。優勝した城北チームは8月12、13日に行われた県大会に出場、見事に優勝を勝ち取りました。

市教委、市小体連など共催の第18回市少年野球大会は7月31日から3日間、市内全小学校の26校が参加し、市民スポーツ広場で行われました。ベスト8に

夏季マラソンさわやか

例行事となった夏季マラソンは、7月30日、市民スポーツ広場で早朝6時から行われました。夫婦連れ、家族連れなど110人が参加、1500、3000、5000mの3コースに分かれて、さわやかな朝の風を受けて走っていました。完走者には走行タイム入りの完走証が手渡され、完走証を手にして記念写真を撮る若者グループも見受けられました。

カーニバル'78に2万人

の真夏の祭典として定着したカーニバルとつりは、8月14日、千代河原市民スポーツ広場で開かれました。今回は「カーニバル'78」と銘打って、午後3時30分に開会。千代川渡り、丸太切り、コーラ早飲み、大食い各競争のほか、ロック、フォークコンサート、のど自慢などが行われ、参加した若者2万人は10時前まで、若さを爆発させていました。



囲碁、将棋にお年寄り腕競う

湖山池湖畔の大樹荘で第11回お年寄り囲碁・将棋大会が開かれました。これは、老人のための明るい町推進事業の一つでもあり、お年寄りの親ぶくをはかるのがねらいですが、参加者は将棋の部に42人、囲碁の部に47人と、各地区の子選で勝ち抜いて来た「精鋭、ぞろい。なごやかなふん囲碁の中で、熱戦が繰り広げられていました。優勝は将棋が浜川米治さん(賀露)、囲碁A組が井上竹男さん(津ノ井)、同B組が田住益治さん(湖山)。

ことしから八月十四日に行われることになった「新成人のつどい」の初めての式典が市民体育館をメイン会場にして開かれました。今回の対象者は昭和三十三年四

初めて夏の成人式

体育館で楽しい催し



「誓い」を行いました。四十分ほどの式典の後は、全員で体育館いっぱい広がつてフォークダンス。また、スポーツ、ゴー、ゲームなどのコーナーも設けられ、盛りだくさんの行事を楽しんでいました。フィナーレはキャンドルサービスで「二十歳の誓い」を行いました。

全員でフォークダンスを楽しむ新成人

月二日から三十四年四月一日までに生まれた人で、男九百四十人、女八百三十七人の合わせて千七百七十七人。出席したのは男三百五十人、女七百八十人の計千三百三十人と、冬の成人式に比べて出席率は高く、服装も女性性はほとんどがワンピース、男性はTシャツにジーンズといった軽装が多く、活動的な服装でした。

青年団体連絡会をつくろう

一とところで、みなさんの団体やサークルの代表者が協議する場はありますか。

河崎 理想かもしれませんが、大きな連合体がほしいですね。

稲村(女) そうですね。自分たちのふるさとをよくしたい、自分だけで終わりではない、と思っています。自分の子供も地域のために活動をす

るであろうし、次の若者たちのためにも、今、連合体をつくりたいと思います。

若者の各種団体、サークルはそれぞれ活発な活動をしています。グループ同志の連絡を密にするた

め、情報交換をやりたいですね。スポーツや、仲間づくり、話し合いの場づくり、また行政を理解するなど今がよいチャンスでもありますので、是非、連合体の組織

づくりりに行政側も指導してほしいものです。

大呂 一つの事業をするにしても、目的が共通する活動は多くあると思います。横の連絡を密にするれば、幅広い市民運動に発展する

河崎 いい機会ですので、ことしは是非やりましょう。

一 本日は大変、ありがとうございました。(おわり)



神戸校区

四十代のソフトボール種目もあるというので、予選に初参加。初戦で大敗。これをきっかけに、「続

わが町のスポーツ運動

40代ソフト大会開く

これまで、市民体育祭は「青年のもの」という先入観だったが、

「けてやろう」ということになり、八月二十日には初めての四十代ソフトボール大会「写真」を開きま

した。また、早天テニス（毎日曜日）、老人ラジオ体操の会（毎朝）、夜間ランニング（毎晩九時ごろ）なども行われています。この地区は農家が多く、「仕事でスポーツをする以上に体を使っているの、ことさらスポーツをする必要もない」との意識の人が多く、校区の指導者はこの意識を変えよう、公民館活動を通してスポーツの必要性を訴えています。

小学生10人

釧路を訪問

こども博見学

市内の小学生十人（六年生、男女各五人）が姉妹都市の釧路

市に占領されていることをこんなに身近に感じたことはありませんでした。これらの島を一日も早く返してもらいたいと思います。いちばんうれしく思ったことは、釧路市内には、鳥取町や鳥取大橋、鳥取小学校、鳥取神社など、鳥取という名が使われていること。しみがわいてきました。

現在、この工場内で処理されているゴミの量は、一日約百八十トくらいで、最も新しい連続燃焼式機械炉により、二十四時間休みなくゴミ処理に追われているそうです。近ごろでは、ゴミの質もプラスチック類が多くなり、量についても

鳥取女子短大家政学科二年の学生十人は夏休み学外実習として、七月二十一日、神谷清掃工場（可燃物ゴミ処理場）を見学しました。参加した谷村純子さん（二九）から見学記を寄せていただきました。

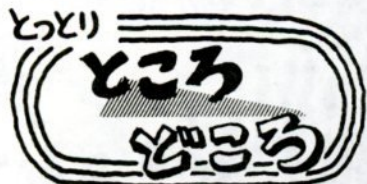
谷村 純子 (19)



脱水してゴミを出そう

年々増えてきて、この清掃工場だけでは市内のすべてのゴミを処理することはむずかしくなってきました。私たちは、ゴミを袋に入れ所定の場所へ持って行くわけですが、その後、集まったゴミがどのような状態になっているかを見た事があるでしょうか。その中には、空きかん、空きびん、その他の不燃物などが混ざっていたり、袋の底に水がたまっていたりして、とてもいやな臭いがします。また、夏は冬に比べスイカとかメロンといった水分の多いゴミが多く、処理に多くの時間と費用がかかるので、畑のある家では、肥料としてゴミを使ったり、畑のない家では、できるだけ脱水してゴミを出すよう心がけなければならぬのではないかと、と工場を見学してそう思いました。（鳥取女子短大家政学科二年）

市から招待を受けて、八月九日から四日間、同市を訪問、同市の小学生らと交歓会に参加したり、北海道こども博覧会（七月一日～八月二十日）、市内各施設、阿寒国立公園、丹頂鶴自然公園などを見学してきました。参加した植田周君（世紀小）と加藤愛民さん（賀露小）の二人に感想文を書いていただきました。



民泊でもとても楽しいことがありました。その家の人たちといっしょにゲーム大会をやったり、ぼくは貝がら節やきなんせ節を歌ったりしました。今までにないとても最高の楽しさでした。

賀露小6年 加藤 愛民



初の歩行者天国でにぎわう智頭街道

智頭街道にぎわう

初めて歩行者天国

七月二十九日、智頭街道で初の歩行者天国が実施されました。智頭街道商店会（米沢敏夫会長）の夜市実行委員会（下田敏夫委員長）と瓦町商店会（高木勉会長）が企画したもので、二階町交差点から瓦町ロータリーまで、午後六時三十分から九時までの二時間半、

車を締め出し、「納涼七夕祭り」と銘打って行われました。歩行者天国となった道路では、落書き、金魚すくい、輪投げ、スイカ特売、ラムネ早飲み競争、スイカ割り大会など楽しい催しがいっぱい。また智頭橋北詰めではエレクトーンの生演奏も行われたほか、手造り噴水も登場するなど、趣向を凝らした催しに智頭街道は家族連れ、チビっ子ら一万二千人でにぎわいました。

好評だった「青空市場」 スイカなど10種出荷

「安い野菜はいかが」
と、市消費者団体連絡協議会(小谷名香会長)が、八月六日に開いた「青空市場」はすつかり、恒例の行事となりました。
「安くて、助かるワ」と、腕に抱え切れないほどの野菜を買っていく主婦など、買い物客は約二百人。一時間半で全部売り切れた大盛況でした。

宮城沖地震被災者へ
自治連が見舞金贈る
市自治連合会(浜野二郎会長)は、八月八日、この六月の宮城県沖地震の被災者に対して、日赤県支部を通して見舞金三十四万五千九百七十五円を贈りました。
見舞金は自治連加盟の四百三十六町内、三万二千五百世帯から集まったもの。鳥取市は昭和十八年

九月の大震災のとき、全国から援助を受けており、今回の見舞金贈呈となったものです。
袋川美化推進協が清掃
ゴミのない美しい旧袋川、天神川の実現を目指している袋川美化推進協議会(池上辰雄会長)は、七月十六日、春(五月二十八日)に続いて、ことし二回目の一斉清

掃を行いました。
午前六時に清掃を開始。旧袋川、天神川沿線の三十四町内の住民約千人が手に手にカマを持ち、汗だくになりながら草刈りをしました。堤防の急斜面では、ロープで体をしばってもらい懸命にカマをふるう姿も見られました。二時間ほどで草刈りを終え、刈り取った草は二、三日置いて乾かし、燃やされ、処理されました。

同和問題 シリーズ

▷17



円通寺デコ(人形芝居)写真の起こりは古く江戸時代から明治の初めだと言われている。

当時から、私たちの村はほとんど田畑がなく、定職もなく若者たちは荒れていた。そこに淡路から人形浄瑠璃が入ってきた。若者たちをとりこにした。

かつて鳥取城が築城され、相次いで修築整備が加えられたり、城下町としての形態をととのえるため、その都度、付近の住民が強制的に駆り出された。この地域の人たちの従事した仕事は、八坂山

人形芝居と差別の歴史 西村 清市



差別と戦いながら守る

周辺の岩石を砕き高瀬舟に積んで山白川を城下まで運搬するなどの重労働であった。この厳しい労働の中から生まれた石切歌が円通寺節(念力節)といわれ人形芝居の

倉吉の奥まででかけ村々を回った。いわば芸による「出稼ぎ」であった。興行中、大雪で足止めされ、仕方なくもう一晚タダで興行したこともあったが、酒やごちそうを

だされ思わぬ歓待をうけたこともあった。
円通寺デコが正月を前後して、冬期間、各村々を演じてまわった背景にある次のことを見落としてはならない。すなわち、農耕や土方仕事で冬をしのぐことができず、冬期の食べ物や蓄えも少ない農閑期に村々をまわった。旅先では何とか食うことができ、家の食いぶ

ちがそれだけ減り家族も助かった。食わんがためには芸そのものが真剣であり鋭さを加え、練習も厳しかった。差別のため教育も受けられず多くの人が文字も知らないの節を覚えるのも、狂言を語るのも、先輩の動作を目で見、耳で聞き、手足を動かして同じことを何べんも繰り返し返して自分のものとした。
県下のデコまわしが下り坂となつたころでも、私たちの村では、一人、二人と正月の門付けにデコ

主な節となっている。現在の人形は大型で、一つの人形を三人が使い、三味線、小太鼓、胡弓で伴奏を入れた。人形の動きは躍動的、庶民的な素朴さをもったものであった。出し物は「大黒舞」「平井(白井)権八」「義民伝佐倉宗五郎」「作州心中」「阿波の鳴門」などの人情ものや庶民階級を対象とした哀調ものである。

私の父が若いころ(最盛期の明治から大正の初め)、正月を前後して若組と古組の二つの座を組み、それぞれ十五人ほどのグループで雪を踏み、東は但馬、西は青谷、

昭和三十七年、国の無形文化財に指定され、さらには昨年十月、鳥取市より文化功労団体として表彰をうけた。私はこの円通寺デコを、多くの人々が部落差別の中で、特別に創り出した価値ある文化遺産として維持保存するだけでなく、若い人たちとともに後世まで伝え、さらに発展させていかなければならないという使命感を持っている。
(円通寺人形芝居保存会代表)

募集

宅地分譲 浜坂に50区画

鳥取開発公社は次の通り宅地分譲します。
 【場所】浜坂(十六本松入口、元県営住宅隣り)。バスは鳥取十六本松線〔区画数〕50区画〔価格〕3.3平方m(1坪)当たり約9万1400円〔区画面積〕1区画当たり約200~330平方m(60~100坪)〔施設〕道路は完全舗装。水道、排水施設完備。配電施設、給水装置は買受人負担〔申し込み資格〕3年以上以内に自分の住む家の建築に着手し、同居親族のあること〔申し込み〕9月20日(水)~30日(土)に公社事務局(西町1丁目、朝日新聞亀井堂共同ビル4階、☎22-4742)へ。

市営住宅 補充入居者募集

市内各地の市営住宅の補充入居者を募集します。

入居を希望する人は建築課住宅係へ。
 【募集戸数】賀露、大森、徳吉、駅南、湖山、吉成、旭町7団地の34戸。
 【家賃】月額4000円~2万2400円
 【募集期間】9月11日(月)~16日(土)
 なお、入居資格、収入基準など詳しいことは、住宅係へ問い合わせてください。

秋の市民教養講座

市教委は初心者を対象にした秋の市民教養講座の受講者を募集します。受講料は500円。
 【講座科目】①古典文学入門(定員50人) = 月~月 毎週火曜日、午後6時~8時30分
 ②パッチワーク~つぎはぎ~(同30人) = 月~月 毎週火曜日、午前9時30分~正午
 ③電気と暮らし(同50人) = 月~月 毎週水曜日、午後1時30分~4時
 ④押絵(同30人) = 月~月 毎週木曜日、午前9時30分~正午
 ⑤初歩の盆栽(同30人) = 月~月 毎週木曜日、午後6時~8時30分
 ⑥書道(同40人) = 月~月 毎週金曜日、午前9時30分~正午
 ⑦郷土の散歩コース(同50人) = 月~月 毎週土曜日、午後2時~5時。
 【申し込み】9月5日(火)~16日(土)に、受講料を添えて中央公民館(福祉文化会館2階、☎23-9637)へ。

レザの趣味講座

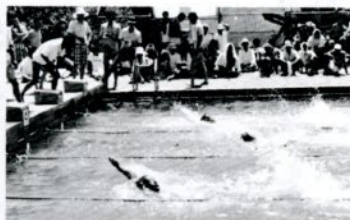
市働く婦人の家が若い女性のための趣味講座を10月に開きます。受講料は500円。
 【講座科目】①レザークラフト②経費のわからない着付
 【申し込み】9月6日(水)~20日(水)に働く婦人の家(福祉文化会館3階、☎24-2704、火曜日は休館)へ。定員は各科目とも25人。

ママさん健康教室

市民体育館は主婦のみなさんを対象にした5回目のママさん健康教室を開きます。期間は9月21日から11月30日までの毎週木曜日。
 【受講料】1人700円。申し込み時に持参。
 【申し込み】9月9日(土)から19日(火)までに市民体育館(吉成、☎24-5222)へ。電話でも受け付けます。定員は30人。

54年歌会始 お題『丘』

54年歌会始のお題は「丘」です。歌に「岡」の文字を用いても差しつかえありません。詠進期間は9月1日から10月11日(消印有効)まで。あて先は宮内庁式部職。
 詳しくは市政室か、直接に宮内庁式部職(☎100・東京都千代田区千代田1番1号・切手をはった返信用封筒を添えて)へ9月30日までに問い合わせてください。



●市民体育祭 本番

開会式

3日、体育館で
 7月30日の水泳競技=写真=を皮切りに始まった第21回市民体育祭は9月に入り、3日(日)午前9時から市民体育館で開会式が行われるほか、右表の通り男子バレーボール、軟式庭球など12種目で熱戦が繰り広げられ、いよいよ本番、に入ります。

種目	会場	期日	
		月日	競技開始
男子バレーボール	市民体育館、南中、美保小、勤労青少年体育館	9月3日(日)	10時
婦人バレーボール			
軟式庭球	井原コート	9月3日(日)	10時30分
相撲	市民相撲場		
柔道	県営武道館		
剣道	県営武道館	9月17日(日)	9時
弓道	市民スポーツ広場		
軟式野球	市民スポーツ広場	9月24日(日)	9時
ソフトボール	南中学校		
バスケットボール	南中学校		
軟式卓球	市民体育館		
バドミントン	市民体育館		

・スポーツマエ・①

スポーツに親しもう



毎日の生活や仕事を快適にするために一番必要なのは、スポーツや運動です。スポーツをする時間や方法は、日常生活のなかで工夫すれば、意外にたくさんあるものです。これからはスポーツに絶好の季節となります。各地区、各町内で運動会も開かれます。家族全員で参加して楽しい休日を過しましょう。

福祉

●10月に結婚記念祝賀式● 市と市社会福祉協議会は「結婚50年、をめでたく迎えたご夫婦のみなさんを招待して、ことしも10月中旬に「結婚記念祝賀式」を開きます。

該当するご夫婦は各地区の民生委員が調査していますが、9月30日までに祝賀式の通知が届かない場合は、福祉事務所老人係へ連絡してください。

●老人交流の集い● 福祉センター白砂荘(永楽温泉町)を原則として毎月第1、第3金曜日を無料開放しています。時間は午前10時から午後5時まで。

9月の日程は次の通りで、7地区のお年寄りが対象です。

【9月】8日=明治、豊実、吉岡、大郷▷22日=松保、東郷、大正

歩こう会

歩こう会の9月例会は次の通り。昼食を持参。
 【とき】9月10日(日)【コース】集合・午前7時に駅前の日ノ丸バス停→出発・7時20分→栃木…菅野…上地…中河原→鳥取(3時30分ごろ)【交通費は570円】

11日~15日 選挙人名簿の縦覧

市選挙管理委員会は9月1日現在で、次のどちらかに該当する人を調査して選挙人名簿に登録、同月11日から5日間、名簿の縦覧を行います。該当する人は登録もれになっていないか、縦覧で確認してください。

【該当者】①昭和33年9月2日までに生まれた人で、新しく選挙人名簿に登録される人②20歳以上の人で、53年6月1日までに転入届けを出して住民基本台帳に登録され、引き続き住んでいる人

【縦覧】日時=9月11日(月)~15日(祝)の5日間、毎日午前8時30分~午後5時▷場所=選挙事務局(市役所6階)

8日に下水処理場を開放

9月10日は第18回全国下水道促進デーです。市は9月8日(金)午前9時30分~午後4時、次の行事を計画しています。

【下水処理場の開放】秋里の処理場で【排水設備器具の展示】玄好町ポンプ場で
 なお、9月8日(金)、9日(土)に市役所玄関案内所で「下水道相談所」を開きます。

秋の交通安全運動

・21日~30日・

ことしのテーマは①歩行者と自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止②安全運転管理の充実と安全運転の促進、の2点です。

健康②

レントゲン間接撮影

15歳以上の市民(事業所、学校で定期検診を行う人は除く)を対象に、レントゲン間接撮影を行いますので、近くの会場で受けてください。ただし、妊娠中の婦人は受けないでください。(無料)



月日	場所	時間
9月18日(月)	布袋中央	9.00~9.20
	上円通寺公民館	9.30~9.50
	下円通寺公民館	10.00~10.20
	倉田地区公民館	10.30~10.50
	八坂入口	11.00~11.20
	橋本作業場	11.30~11.50
	上国安西尾宅前	1.30~1.50
	蔵田公民館	2.00~2.20
	西馬場停留所	2.30~2.50
	東馬場停留所	3.00~3.20
9月19日(火)	賀露大橋詰	9.30~11.30
	賀露漁業組合	1.30~3.20
9月20日(水)	みどり保育所(賀露)	9.30~11.00
	晩稲青木宅前	11.10~11.30
	南隈円井宅前	1.30~1.50
	鳥取卸センター	2.00~2.30
	安長作業場	2.30~2.50
9月21日(木)	南吉成米本医院前	9.30~9.50
	叶茶屋入口	10.00~10.20
	叶土居荒尾宅前	10.30~10.50
	数津入口	11.00~11.20
	的場公民館	1.30~1.50
	宮長公民館	2.00~2.20
	大覚寺公民館	2.30~2.50
9月22日(金)	東吉成公民館	9.30~9.50
	美保小学校	10.00~10.20
	西吉成浴場前	10.30~10.50
	古市公民館	11.00~11.20
	中西製材所前	11.30~11.50
	岡田材木店前(天神町)	1.30~1.50
	富安2丁目中央	2.00~2.20
9月25日(月)	鳥取駅官舎前	2.30~2.50
	江津停留所	9.30~9.50
	秋里作業場	10.00~10.20
	田島秋里宅前	10.30~10.50
	松並町森本酒店前	11.00~11.20
	城北地区公民館	11.30~11.50
	丸山町警察官舎前	1.30~1.50
9月26日(火)	青葉町1丁目川下橋	2.00~2.30
	浜坂新田公民館	9.30~9.50
	東浜県住谷口商店前	10.00~10.20
	東部生協浜坂店横	10.30~10.50
	浜坂地区公民館	11.00~11.20
9月27日(水)	ひばりヶ丘広場	1.30~1.50
	覚寺部落中央	2.00~2.20
	円護寺坂の下	2.30~2.50
9月27日(水)	百谷部落中央	9.30~9.50
	滝山停留所	10.00~10.20

月日	場所	時間	
9月27日(水)	農協稲葉支所	10.30~10.50	
	稲葉山小学校	11.00~11.20	
	岩倉天理教前	1.30~1.50	
	岩倉田中商店前	2.00~2.20	
	緑町2区丸大荘前	2.30~2.50	
9月28日(木)	旭町旧盲学校前	9.30~10.00	
	卯垣下多釣具店横	10.10~10.40	
	立川5丁目立正佼成会	10.50~11.20	
9月29日(金)	立川4丁目楠城醬油店	2.10~2.40	
	日進小学校裏	9.30~10.00	
	弥生町公園前	10.10~10.40	
	わかば保育所	10.50~11.20	
	とっとり共済会館横	1.30~2.00	
10月2日(月)	梶浦モータース横	2.10~2.40	
	面谷医院前	2.50~3.20	
	明德小学校	9.30~10.20	
	今町1丁目伊藤農機前	10.30~11.20	
	さなえ保育所前	1.30~2.20	
	行徳三協荘前	2.30~3.20	
	10月3日(火)	聖神社裏	9.30~10.20
		富桑小学校	10.30~11.20
		農協富桑支所	1.30~2.20
	10月4日(水)	西品治塚の前	2.30~3.20
醇風小学校		9.30~10.20	
10月5日(木)	旧鳥取保健所前	10.30~11.20	
	西中学校	1.30~2.20	
	景福寺前	2.30~3.20	
	中田法律事務所前	9.30~10.00	
	県庁広場	10.10~10.40	
10月6日(金)	湯所1丁目竹林自転車店前	10.50~11.20	
	鳥取図書館前	1.30~2.20	
	あすなろ保育園前	2.30~3.20	
10月6日(金)	修立小学校	9.30~10.20	
	上町寿建設前	10.30~11.20	
10月6日(金)	市役所横	1.30~3.00	

市民健康相談

次の日程で乳幼児と成人を対象に健康相談を行います。近くの会場で受けてください。担当は市保健婦。

受ける人=生後1~18ヵ月の乳幼児と成人
とき=①乳幼児は午前10時~正午②成人は午後1時~3時 (無料)

相談日	相談場所
9月11日(月)	西品治公民館
9月13日(水)	古海隣保館
	倉田隣保館
	下味野隣保館

3歳児健康診査

9月の3歳児健康診査は50年3月生まれの幼児を対象に行います。対象幼児のある家庭へは、9月20日ごろ、診査日時、場所を連絡しますので、受診させてください。

なお、連絡がない場合は、鳥取保健所(江津、県立中央病院隣り、☎22-5161)へ問い合わせてください。(無料)

乳児検診

生後6ヵ月の乳児を対象に乳児検診を行います。お母さんが同伴

できないときは、妊娠中や出産後の発育状態などがわかるようにしてください。(無料)

受ける人=昭和53年3月生まれの乳児
ところ=福祉文化会館
とき=午後1時~3時

検診日	校区
9月19日(火)	神戸 美和 倉田 面影 東郷 大正 世紀 湖南 末恒 湖山 城北 賀露 浜坂 明治 米里 津ノ井
9月20日(水)	上記以外の校区

1歳6ヵ月児検診

1歳6ヵ月の幼児を対象に健康診査を行います。この時期は、おしゃべりや歩行など、精神的、運動的に確立するときです。この診査では、これらの遅れの発見や、このころから増え始める虫歯の予防など心身障害の発生防止のための診査、指導を行います。(無料)

受ける人=昭和52年3月生まれの幼児
ところ=福祉文化会館
とき=午後1時~3時

健康診査日	校区
9月6日(水)	日進 明德 賀露 久松 醇風 遷喬 修立
9月7日(木)	浜坂 城北 湖山 稲葉山
9月8日(金)	上記以外の校区

相談

9、10月の法律相談

一 満員になり次第締め切ります

弁護士による法律相談を行っています。相続、遺産、土地の売買や登記、家族問題などで困っている人は利用してください。(無料)

【市政室担当】相談時間は午後1時~4時。相談場所は市民相談室(市役所1階)。申し込みは市政室広報広聴係へ。

相談日 9月14日(木)
 10月16日(月)

【市社会福祉協議会担当】相談時間は午前10時~午後3時。相談場所は市社協協内の心配ごと相談所(福祉文化会館1階)。申し込みは市社協協 ☎24-8180 へ。

相談日 9月18日(月)
 10月16日(月)

25日 合同相談所

家庭内のいざこざ、財産・人権問題、官公庁への苦情、そのほか困りごとのある人は、気軽に相談してください。(無料)

とき 9月25日(月)午前10時~午後3時
ところ 福祉文化会館3階

担当 鳥取行政監察局、鳥取地方務局、国税局税務相談室、市社協など6機関

健康①

三種混合予防接種

ジフテリア・百日ぜき・破傷風



次の日程で三種混合予防接種(ジフテリア、百日ぜき、破傷風)の第1期(3回接種)の1、2回目接種(3回目は10月下旬～11月上旬に実施。日程は10月号に掲載)を行います。対象児のある家庭は必ず受けさせてください。(無料)

受ける人=昭和51年1月1日～8月31日に生まれた幼児

とき=午後1時30分～3時

母子手帳を持ち、予防票を記入してきてください。

地区	接種場所	第1期	
		1回	2回
世紀、明治	世紀小学校	9月12日(火)	10月5日(木)

生ポリオワクチン投与

(第1回)

生ポリオワクチンの投与(第1回)を行います。第2回は12月5日～8日に実施します。母子手帳の子診票に必要事項を記入して持参してください。

(無料)

対象児=昭和53年1月1日～6月30日の出生児と、まだ投与を2回終わっていない満4歳までの乳幼児

とき=午後1時30分～3時

ところ=福祉文化会館

受けてはいけない子=熱があったり下痢、結核、重い心臓病にかかっている子、病後の衰弱児や栄養障害児、はしかの予防接種後1ヵ月以内の子、そのほか医師が投与を不適当と認めた子



対象校 区	投与日
	第1回
稲葉山 修立 津ノ井 米里 面影 大正 東郷	9月28日(木)
美保 倉田 明德 久松 美和 神戸	9月29日(金)
城北 湖山 末恒 富桑 賀露 浜坂	10月2日(月)
醇風 日進 湖南 遷喬 明治 世紀	10月3日(火)

毎月第3日曜日(家庭の日)

市民総スポーツの日

スポーツを生活の一部に

地区	接種場所	第1期	
		1回	2回
美保、倉田 遷喬	福祉文化会館	9月13日(水)	10月4日(水)
浜 坂	浜坂地区公民館	9月14日(木)	10月5日(木)
大正、東郷	大正地区公民館	9月18日(月)	10月9日(月)
稲 葉 山	福祉文化会館	9月19日(火)	10月11日(水)
賀 露	賀露地区公民館	9月20日(水)	10月12日(木)
津ノ井、米里	津ノ井地区公民館	9月21日(木)	10月12日(木)
湖山、末恒	湖山地区公民館	9月22日(金)	10月13日(金)
城北、日進	福祉文化会館	9月26日(火)	10月17日(火)
修立、醇風	福祉文化会館	9月27日(水)	10月18日(水)
湖 南	湖南地区公民館	9月27日(水)	10月18日(水)
面 影	面影地区公民館	9月27日(水)	10月18日(水)
富 桑	福祉文化会館	9月27日(水)	10月18日(水)
久松、明德	福祉文化会館	9月27日(水)	10月18日(水)
神戸、美和	美和小学校	9月27日(水)	10月18日(水)

休日在宅当番医(9月)

9月の休日在宅当番医は次の通りです。診療時間は午後6時から9時まで。

とき	病院名	ところ	でんわ
9月3日	石河内科医院	元魚町1丁目	23-3618
	田村医院	掛出町	23-1057
9月10日	福羅医院	秋里	24-3738
	福田内科医院	瓦町	23-0888
9月15日	藤山内科小児科医院	西品治	23-3527
	竹内内科小児科医院	本町5丁目	22-2317
9月17日	尾崎内科医院	立川町2丁目	23-3366
	大塩内科医院	若桜町	22-4524
9月23日	井崎医院	吉方温泉1丁目	22-2590
	大家医院	吉方町2丁目	22-7633
9月24日	星野医院	青葉町2丁目	22-5105

ガン検診

次の日程で胃ガン検診を行います。希望者は厚生課保健衛生係に申し込んでください。

受付時間=午前8時30分～10時30分

(無料)

区域	検診日	検診場所
津ノ井	9月11日(月)	市農協津ノ井支所
湖 山	9月12日(火)	湖山地区公民館
	9月13日(水)	

子宮ガンの受診申し込みはいつでも厚生課保健衛生係で受け付けており、市内の指定医療機関で受診していただきます。(無料)

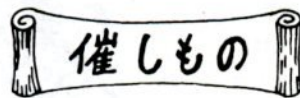


9月 国保料(第2期)の
— 支払い月です

24日(日) 正午～午後5時

歩行者広場

…若桜街道、本通り…



〔市民会館〕 ☎24-9411

- 鳥取演劇鑑賞会例会・青年座「からゆきさん」(有)
- インド大魔術団ショー(整理券)
- 八代重紀リサイタル(有)
- 市戦没者慰霊法要
- 県芸術文化祭開幕公演「デュークエイセス」(有)
- 辻久子バイオリンリサイタル
- 岩崎宏美コンサート(有)
- 池ノ坊巡回講習
- 53年度NHK全国学校音楽コンクール県大会(小、中、高校生の合唱)
- 鳥取演劇集団第25回定期公演「ストップニュース」(有)
- ブラザーニットショー(有)
- 鳥取福祉推進慰安大会
- パンダフルハウスコンサート(有)
- 山陰放送ラジオ公開録音・ヤングフェスタミュージックイン鳥取
- 安来節大会(有)
- 山根弥生子ピアノリサイタル(有)
- 文芸春秋文化講演会(城山三郎、深田祐介、荻昌弘)
- 第2回郷土芸能大会(有)
- 佐々木正嘉ピアノリサイタル(有)

〔福祉文化会館〕 ☎24-6766

- 第3回鳥取由源の会・書道展
- 児童生徒科学作品展
- 柳美会展示会(俳画)
- 工芸菓子展示会
- 特殊教育100年記念・特殊学級・特殊学校児童生徒作品展

〔市民体育館〕 ☎24-5222

- 市民体育祭(開会式、男子・婦人バレーボール)
- 県少年少女バレーボール大会
- 市老人クラブ運動会
- 県社会人バドミントン大会
- 東部地区労働者スポーツ大会
- 市民体育祭(バドミントン、卓球)
- 県老人スポーツ大会
- 県家庭婦人選手権バレーボール大会

〔県立博物館〕 ☎26-8042

- 県美術展

～(有)は有料です～

第2回郷土芸能大会

10月1日(日)

午後11時～午後

4時、市民会館ホールで。因幡民謡連盟主催。入場料は600円。

とっとり市議会だより

市勢メモ

昭和53年8月1日 現在

人口 計126,072人
男 60,678人
女 65,394人

世帯数 38,725世帯

面積 237.28平方^キ。

市章



第23号

編集・発行 鳥取市議会事務局

6月定例会



▶暑さをふっとはし元氣よくしゃんしゃん祭りに出演した議会連

駅高架開通へ準備着々

「市民ホール」は年内着工

六月定例会市議会は、六月十六日から六月二十四日まで、九日間の日程で開会され、昭和五十三年度一般会計補正予算をはじめとする市長提出議案十三件、議員提出議案一件をそれぞれ原案どおり可決し閉会した。開会の冒頭、市長から現時点での本市財政等の現状と今後の見通し、提出議案の説明があったが概要は次のとおりである。

本年度は、国の予算並びに地方財政計画と同一の考えで、景気対策に配慮し、特に公共事業の拡大促進に重点を置き、積極的に大型予算を編成したが、国の景気浮揚の措置等により、経済動向もようやく回復の兆候がみえ始めてきた。したがって、今後さらに諸事業の推進を図るため、関係機関と緊密な連携をとっていく。昨年より種々論議のあった稲作の生産調整は、生産者の方々のご理解と、関係団体のご協力により計画どおり進んでいる。多年の懸案であった鳥取刑務所の移転改築もめでたく完成し、今後は跡地利用と周辺の開発について遺憾のないようにする。昭和五十二年度は、国、地方をとわず、極度に苦しい財政運営であったが、財源の確保と行政投資の効率化、景気の浮揚と市民福祉に努力した結果、おおむね初期の成果が得られ、その上、財政調整基金の積み立て増を行う等財政の健全化を図りながら出納閉鎖を終了した。

今回、提案した一般会計補正予算は、公共事業の認承決定によるものと、緊急を要する経費等、総額九千五百四十一万五千円であり主な内容は、覚寺線林道四千四十七万円、田島区画整理事業千四百五十万円、駅南第二区画整理事業の換地精算金千二百五十万円、北村地区生活改善センター建設費千二百八十八万円、じん臓疾患等難病対策費二百万円、駅高架開通記念式負担金百万円等である。なお、中央病院跡地の利用は、全体構想として文化センターの建設を計画しているが、その一画として「鳥取市市民ホール」の建設について、今回債務負担の措置をし、年内に着工したいと考えている。人事案件としては、人権擁護委員候補者、公平委員会委員、固定資産評価員の同意が求められ、それぞれ原案のとおり同意された。

一般質問

今定例会の一般質問は、社会党、清風会、公明党、新政会、民社党、共産党の順で行われたが、各会派とも鳥取空港拡張問題と、不況打開策、財政健全化をとりあげ活発な論議が行われた。各会派の主な質問内容は次のとおりである。

空港問題どう解決

反対の多い修立移転

質問（社会党） ①政府は、景気刺激の切り札として公共事業を中心とした経済政策を打ちだし、先日、自治事務次官通達をもって、各地方自治体に対し全事業の契約を上半期七三〇程度発注するよう指導している。本市の場合、こうした発注ができる見通しがあるのか。また、これに伴う国・県支出金、分担金等の交付見通しはどうなっているのか。

▲テスト飛行する737型ジェット機の騒音調査

②公共事業は、地域の不況対策、景気刺激に大きな役割を果たすが雇用につながるという意味がない。今日の土建事業は大型機械化された特定企業のみが発注されていないか。また、中小零細業者への下請け等の状況はどうか。地域の景気浮揚にどの程度つながっているのか。



③社会党議員団は、過日、市内中小企業数社を訪問し経営者から実情をつぶさに聞いたが、その内容は実に深刻なものであった。行政としても、現在まで物心両面の

用地を取得した企業については、生産向上の見通しがつかない現状での設備投資は不可能に近く、逆に取得用地が大きな重荷になっていくとき、同団地の発展のため、この際、思いきった処置が必要と思うが、今後の見通し等、市長の考えを伺いたい。

④津ノ井工業団地への企業移転は、近年の不況により当初の計画とは逆に惨たんたる有り様である。

⑤今年に入って、県東部地区で十一件の倒産があり一千二百人の離職者が確認され昨年までの者と合わせると二千八百人にのぼっている。この中の約五〇％は四十五歳以上の高齢者であり、再就職はますます困難となっている。

自治省は各都道府県に対し、雇用促進方の指示を出し、鳥取県では雇用対策班を設置し促進を図っている。本市でもこの対策に呼応し、雇用対策室、あるいは対策協議会を設置し、実質有効な措置を講じるべきと思うが、市長の考えは。

意思の疎通を図る

全域のひと話し合う

答（市長） ①国は、公共事業上半期発注率七三〇を目標にして、本市の現時点の見通しは、六月までが三六・六％であり、七月に入ると大型建設事業の発注を行うので五〇％となり、上半期末の九月には八八・八％となる見通しである。したがって国の発注目標をかなり上回ることになる。

- ②特定の企業のみが発注されていないかという質問であるが、昭和三十二年度の発注状況を見ると、建設事業三百九十八件発注に対し、請負業者百五十六社、農林事業三
- 伴うテスト飛行が具体化され、離着陸直下の住民から深刻な騒音公害で大きな反対運動が起こっている。空港整備が地域発展に大きな貢献をもたらすことは理解するものの、当地域は学園地域、福祉地域といわれ、また人家の密集した住宅地域も近く、反対も当然といわざるを得ない。こうした地域住民の動向をどのようにとらえ、どのように解決していくのが市長の考えを伺いたい。
- ⑦修立小学校の移転問題について、教育長から去る二月、地元の説明会を開催し、大方の了解を得たやに聞いていたが、その後、大
- きな反対運動が起こり校区有権者八〇名に及ぶ反対署名が提出されている。この反対運動に対し、市長は最終的には教委の責任と判断だと断りながら「どうしても大多数が反対ということであれば断念せざるを得ない」と言明されている。教育長も市長と同趣旨の考えをもっているのか伺いたい。
- ⑧米の消費拡大という施策から、学校給食を米飯に切り替えるべきだと、かねてから主張していたが、近く委託方式による米飯給食が実施されるようである。現段階での具体的な計画、アルファ米使用の考え等があるのか伺いたい。

提出議案と結果

四月臨時会、五月臨時会、六月定例会、七月臨時会で可決された議案は次の通り。

（4月臨時会）

- 第77号 鳥取市税条例の一部改正について
- 第78号 鳥取市特別土地保有税審議会条例の制定について

（5月臨時会）

- 第80号 53年度鳥取市いば墓苑事業費特別会計補正予算（第一号）

（6月定例会）

- 第81号 53年度鳥取市一般会計補正予算
- 第82号 鳥取市農業委員会委員の選挙区及びその選挙区において選挙すべき委員の定員の定数を定める条例の一部改正について
- 第83号 鳥取市消防団員等の公務災害補償条例の一部改正について
- 第84号 鳥取市非常勤消防団員に係る退職償金の支給に関する条例の一部改正について
- 第85号 鳥取市立学校条例の一部改正について
- 第86号 鳥取市災害弔慰金の支給及び災害援護費

いと考え先般も有力企業二社の幹部と会見し誘致について努力してこの場合、本市ではアルファ米は使用せず、普通の精白米を炊いて各学校に運搬していく。

また中小企業振興審議会の中に企業誘致部門を設け、専門的な意見をきき遺憾のないようにする。

⑤雇用対策室設置の提案があったが、市にはこれらの権限がほとんどない実態である。したがって、県が設置している機関と連絡を密にして進めたいと考えている。しかし、窓口的な機能としての対策室を設けるか、どうか今後十分検討する必要があると思う。

⑥YS11の飛行が中止となった場合、他の航空機が飛行出来る飛行場の整備は近代都市としてぜひ必要なものと考え、昨年より関係地域の方々と話し合っている。先般も賀露地区で説明会を行ったが、騒音公害という観点からかなり強い反対の意見が一部の人からでた。

騒音は賀露地区の中でも特定の地域が大きな影響を受けると思われるので、今後はこうした特定の地域の方々と十分に話し合い、意思の疎通を図るよう努力する。

答(教育長)

⑦修立小学校の移転については、敷き地が狭く環境がよくないということで校区審議会から答申があり、それに基づき今日まで話し合いを進めてきた。しかし、説明が十分でなく反対署名が提出されるといふ事態となり反省している。今後は、校区全域の方々と話し合いを進め、大方の方々の理解を得るよう最大の努力をしていく。

⑧米飯給食の方法は、パン業者

炊飯を委託するようにしている。この場合、本市ではアルファ米は

町内会館に助成せよ 観光コース設定を

質問(清風会) ①公共投資事業の早期発注と、着工に伴う前払いを行い、景気回復を図るべく努力されているのであるが、公共団体の資金となる地方交付税の本年度当初分は、見込みどおり順調に交付されているのか。 昨年度、厳しい財政事情の中で住民福祉の充実、景気浮揚対策に鋭意努力を払いながらも財政調整基金の積み立てを行う等、健全な財政運営に對し敬意を表するが、決算見込みと併せて本市財政の問題点はないか伺いたい。 次に、現行の地方財政制度では均衡ある財政運営は望めず、制度の抜本的改正を図る必要に迫られている。当議会でも改革に関する意見書を議決しているところであるが、税財政制度の改革について、市長の考えを伺いたい。

②町内会館整備に対する助成に「老人のための明るい町推進事業」は現在どの程度進んでいるのか伺いたい。 ③町内会館整備に対する助成に「老人のための明るい町推進事業」は現在どの程度進んでいるのか伺いたい。 ④本市観光の実態は、観光収入が低下し、その上、老舗といわれるホテル等の廃業が目立っている。恵まれた自然環境、多くの名所古跡を有する本市にとって憂うべきことである。観光の不振の要因はいろいろあると思うが、まず第一に観光コースの設定がないことである。一日コース、時間コース等、数種のコースを設定し、観光客の誘致と滞在客獲得を図るべきだと思うが、どう考えているか。 ⑤鉄道高架事業は順調に進捗し、十月開通の運びとなっているが、高架下の利用は国鉄及び同系会社によって管理される国鉄主導型の運営となるようである。これにより、高架下に進出する地元商社が差別されないよう国鉄と折衝する必要があるが、市長の考えは。

新団地での協力検討 湖山池周辺が根幹

答(市長) ①地方交付税の交付状況は、当初予定額四億七千四百九十八万円に対し、四月当初三億五千二百二十二万円の交付があった。残りの一億一千九百七十六万円は、地方交付税法の改正直後の四月二十八日に交付されている。五十二年度の決算見込みであるが、市税等の徴収も概ね見通しどおり確保でき、前年に引き続き五千万円の財政調整積み立てを行っている。この財源は、将来の職員退職金にあてたいと考えている。

次に、地方財政の見直しであるが、事業は地方が七割やり、財源は国が七割握っている。というこ

必要があるが、市長の考えは。

⑥持ち家は、庶民の最大の願いで夢でもある。しかし、この夢がなかなかかなえられないのは宅地の高いことが原因である。将来の二十万都市構想からみても、地価の安い宅地を開発し供給する必要があるが、市長の考えは。

⑦千代川河口に付けかえ工事昭和五十五年を目標に進められている。この事業が完成すれば鳥取港は河口港から湾内港と生まれ変わることになる。しかし、年々汚染が進んでいる湖山池と、周辺家庭の汚水が湖山池を通じて流れてくるため港湾内の汚染が心配される。これに対する対策はどのようなものか。 ⑧部落集会所、町内会館に対する助成措置であるが、現在、市内に約五百の集落があり、これに十

金の貸付けに関する条例の一部改正について

第87号 鳥取市国民健康保険条例の一部改正について

第88号 鳥取市営土地改良事業の施行について

第89号 鳥取市営土地改良事業の経費の賦課基準並びにその徴収の時期及び方法について

第90号 専決処分事項の報告及び承認について

第91号 人権擁護委員候補者の推薦について

第92号 鳥取市公平委員会委員の選任について

第93号 鳥取市固定資産評価員の選任について

7月臨時会

第94号 工事請負契約の締結について(徳吉団地 公営住宅)

第95号 工事請負契約の締結について(徳吉団地 公営住宅)

第96号 工事請負契約の締結について(湖東中学校 校舎増築)

第97号 工事請負契約の締結について(大正小学校 校舎改築)

第98号 工事請負契約の締結について(秋里下水 終末処理場築造)

第99号 工事請負契約の締結について(第6工区 下水道新設)

あり、また指摘のあった観光ルートの設定も必要である。今後は、広域性があってポイントのあるルート設定を考えていきたい。

⑤高架下の商店利用については、利用面積、利用料金等、具体的なものが示されていないが、具体的な案をみて遺憾のないよう対処する。

⑥鳥取市の市街地は、大火後の区画整理により空地が少ない関係上、宅地価格が高くなっていると思う。したがって交通便利のよい市街地周辺の農地が宅地の対象となってくるが、これは優良な農地でありどうかと思う。

将来構想の中で考えているのは、

理解されぬ血友病

サラ金対策はあるか

(質問(公明党) ①金田市長 あるいは身障者の雇用促進等を強化するべきであるが市長の考えを伺いたい。

④血友病は、特定疾患として指定されておるにもかかわらず、身体障害手帳の交付も福祉手当の支給もされていない。

また、社会の無理解、あるいは偏見による就職、結婚等の障害があり環境は暗いものである。先進都市では血友病患者に対し、医療費の全額負担、療養見舞金を支給しているが、これに対する市長の考えは。

②地方財政の悪化は行きつくところまで追いこまれ、政府が今回制度改正に準ずる措置を講じたものの暫定的なものにすぎず、今後本財政危機は継続するものと思つ。本年度の地方財政の財源不足は三兆五百億円であり、このうち一兆三千億円を地方債でまかない、残り一兆七千億円の半額を国が肩代わりすることになっているものの、全体の四分の三に当たる二兆一千五百億円が地方公共団体の借金となっている。

こうした地方財政の財源不足のなかで、本市財政の見通しについてどう考えているのか。

③身体障害者福祉モデル都市の指定を受け、交通安全施設の整備を重点に進めてきているが、障害者年金の増額と受給範囲の拡大、

丘陵地帯に大きな宅地用地を造成し、安くて環境のよいものを供給したいと考えている。

⑦千代川の河口付け替え後の賀露港の汚染であるが、千代川に流入していた湖山川がカットされ、直接港湾内に流れるので現在より汚染が進むことは避けられないと

来の県中部をも含めた一般貨物の集積地として千代水地区に公共ふ頭を設置、また、賀露地区に大型漁船に対処するための公共ふ頭があるが、この見通しはどうか。

また、千代水区画整理区域内の企業張りつけの現状と、見通しはどうなっているか。

先進地参考に検討 協会加入を指導する

考える。

この解決策は、湖山池の浄化と公共下水道の施行以外ないと思うので、対策に全力をあげていく。

しかし、河口切り替えと下水道等の完成時点でずれがあるが、この間は汚染源となる施設等に行政指導するなど最善の努力をしていく。

⑦新しい刑務所が完成し、跡地は公用地跡地研究会の答申を受け、緑地公園と高層公営住宅の構想が打ち出されている。従来の公営住宅は、とく量に重点がおかれがちであったが、人々の住いに対する考え方が質の向上を求めものとなっている。

答(市長)

①私の任期があと七カ月となったが、次期市長選に出馬する意思があるのか、というお尋ねがあったが、現在の私は本年度事業の執行と景気浮揚策に全力を傾注しているところであり、この問題については決心したかおねている。しかし、多くの市民の方から引続き市政を担当するよう激励をいただいておりますので、こうした意見を慎重に検討し、できるだけ早い機会に結論を出したいと考えている。

②地方財政の財源不足を地方債の増発でまかなうというのは国の方針であり、鳥取市としても市債の増額を余儀なくされている。本

狭くて不便な公営住宅のイメージを脱し、庭つき家具つきというユニークなモデル公営住宅を建設すべきであるが、市長の考えを伺いたい。

⑨学校図書平均蔵書数は、小中学校とも一人七冊となっている。しかし各学校別にみると非常に格差があるが、どのように指導してきたのか。

また、昭和五十一年度から実施している図書購入予算は年々削減され、したがって父母負担経費で充足されている実情である。これについて教育長はどう考えているのか。

④本市の血友病患者は三人あるようだが、現在の制度では指摘のとおり身体障害者扱い、あるいは医療費助成の対象となっていない。先進都市の例を参考にし、今後検討していく。

⑤サラリーマン金融の開業は、届け出によって出来ることになっており、権限は都道府県知事がある。本市のサラ金業者は、二百三十業者もあり驚いている。このうち法人の鳥取県庶民金融業協会に加入しているのは四十業者であり、これは良心的な営業もや

っていると思う。当面は、この協会に加入するよう業者の指導をやっていきたいと考えている。

⑥集積地で取り扱うものは鉱産品である砂利、砕石等であり、化学工業品はセメント、石油等である。漁船の停泊地は、湖山川に近しい奥を考慮水深三層一四層で三百ト級の漁船が安全に停泊できるものを計画している。

千代水地区の工業立地であるが、市街地にふさわしくない企業の移転が当面必要と考え、現在、市街地の工業調査に取り組んでいるが、昭和五十二年に四社と契約を完了し、造成用地の五七割は話がついている。残りについても近く話がまとまると思う。

⑦刑務所跡地のある地域は、将来の鳥取市の中心的な地域にもなることである。現在の都市計画の用途地域で住宅地域となっている。したがって、近代都市にふさわしいモデル的な住宅地帯にしたいと考えているが、各位の意見をきいて遺憾のないように取り組んでいく。

⑨テレビの影響で、本を読んでも物事を考えるという思考力が低下してきているといわれている。読書指導を進めるため五十一年から特別に図書費を計上してきたが、一応軌道にのった感もあり削減している。

父母負担の図書購入について指摘があったが、基準以上の本を買って子供達に大いに読ませたいと思

進まぬ高架下道路

駅前商店街は苦境に

質問(新公会)

①全国の完全

失業者は二百百

二十三万人とい

われ、潜在失業

者は二百万人と

も三百万人とも

いわれ、雇用不

安はますます深

刻になってい

本市も例外でな

く、このような

事態に直面した

今こそ総力をあ

げて、企業誘致

に取り組み働く

者の職場を確保し、雇用不安を解

消することが急務であると思う。

企業誘致の障害となっている理由

はいろいろあると思うが、まず課

税問題と地価が高いということ

である。これについて市長の所見を

伺いたい。

②人口の地方分散、産業教育機

関の再配置等、国の方針が出され

ているが、これの最大の条件は交

通網の整備だと思ふ。また、六十

年代の貨物輸送の九〇〇は道路輸

送になるといわれている。米子市

は、中国縦貫高速道路と結ぶ高速

道路の建設が決定され、経済圏は

ますます発展が予想される。

これに比べ本市を中心とする経

済圏は、既存国道の部分改良に依

存する状態である。鳥取市を起点

とする陰陽連絡幹線道路の建設こ

そ急務と考えるが、市長の所信を

伺いたい。

③駅高架事業は順調に進み、い

よいよ十月には高架切り替えとな

り市民待望の夢が

実現する。同時に

駅南地域にとつて

は画期的なスター

トなるが、駅高架

が開通しても高架

下を南北に通する

道路が完成しなく

ては、駅南開発は

ますます遅れるば

かりである。

交通渋滞の緩和

と、駅南開発が高

架事業の大きな目

的であつたと思つ

が、現在の状況か

らみるとこの目的

が著しくそこなわ

れているとしかい

えない。これに取

り組む市長の所信と、連絡道路の

完成時期について伺いたい。

④駅前都市改造事業により、駅

前商店街は面目を一新し、近代的

なビル街に脱皮した。しかし、上

物を含めた都市開発の手法による

べきであつたにもかかわらず、上

物を抜きにした区画整理事業によ

り施行したため、業種競争、不当

ともいえる床面積の増大、過大な

設備投資、その上、不況という悪

条件が重なり経営は非常に苦しい

といわれている。

また、明年度あたりから借入金

の元利償還が始まり、高架下には

鉄道弘済会を資本とする有力店舗

の進出等、前途はますます容易で

ないと推察されるが、行政として

も実態を十分に把握し、適切な対

応策を講ずるべきである。市長の

所見を伺いたい。

⑤地方公共団体は不況の影響に

よる税収入の大幅な落ち込みと、

人件費の高騰、加えて多様化する

行政需要により財政運営は困難を

極めている。本市は幸い健全財政

を堅持しながら、住民要求に対応

しており敬意を表する。

他市町村のヤミ給与から端を発

する財政健全化について事務次官通

達をだしている。本市職員に対す

る給与及び退職手当の支給状況は、

国が示す基準に對しどのようにな

っているのか。

⑥全農家をあげて反対した。米

の生産調整は四百十の目標面積

に対し、四百六十一の総の実績で達

成率一一二強となっている。し

かし、この中に基盤整備事業の休

耕田が含まれており、表面的には

達成されているが、この減反面積

は集落を対象として割り当てられ

たものであり、百八十五集落のう

ち三分の一は未達成だとすく。来

年度以降、この未達成集落に対し、

罰則方式をとっていくのか、どう

か伺いたい。

⑦市立若草作業所に現在十六人

の方が通所し、授産作業が実施さ

れている。運営は市補助とボラン

ティアの応援によつて行われている

が、施設は狭く、しかも老朽化

し、十分な作業ができない状況で

ある。早急に、国の助成対象とな

る施設に改善すべきであるが、市

長の考えを伺いたい。

⑧若草作業所に対する関係者

の方々の熱意に對しては頭が下る。

本年度から市立の施設として運営

するよう条例化した。指摘のと

おり建物狭くその上老朽化して

おり申し訳ない。今後は適地を探

し、国の補助対象となる施設に整

備するよう努力する。

また、運営の主体はどことが当た

るか等についても、関係機関とよ

く協議し、社会復帰への目的が果

たせるよう検討していく。



▲南北連絡道路の早期完成が待たれる高架下

公道は早急に開通

商圈人口拡大が必要

答(市長) ①誘致企業に對し
ては、低開発地域の指定により一
定期間、固定資産税を免除するこ
とにしている。

企業誘致は、こうした経済情勢
であり、ある程度気長で地道な努
力が必要であると考え、県と四市
が協力し東京、大阪で企業誘致懇
談会を開催している。その際、鳥
取市の立地条件を説明しているが、
なんといいても道路、鉄道、港湾、
飛行場等、都市基盤の状況が誘致
に大きな影響があるので、この整
備の促進を図りながら努力してい
く。

②国は幹線自動車道整備法で、
全国七千の道路開発を行うが、
本市を起点とする陰陽連絡道路は
残念ながらこの中に入っていない。
したがって、既存の国道29号線、
53号線、373号のいずれかを高速道
路に準じた整備をするという取
り組んできた。

この中で373号線が最も条件がよ
く、本年度から国の直轄事業でト
ンネル工事が進められている。

③高架下の南北道路は、二十四
本の既存道路、計画道路がある。
この中で踏切のある国道二路線、
県道二路線、市道二路線の公道に
ついては、開通と同時にいうわけ
に出来ないが早急に整備する。
計画道路十八路線のうち十一路
線については、区画整理事業ある
ものもあり、出来るだけ早く完成
したいと考えている。残り七路線
については、ある程度先にならざ
るを得ないと思うが国、県に要請
し期待にそえるよう努力する。

④駅前商店街の経営は、非常に
困難な事情があるようであり、今
後どのように打解していくか、市
としても強い関心をもって対応し
たいと考えている。

⑤若草作業所に対する関係者
の方々の熱意に對しては頭が下る。
本年度から市立の施設として運営
するよう条例化した。指摘のと
おり建物狭くその上老朽化して
おり申し訳ない。今後は適地を探
し、国の補助対象となる施設に整
備するよう努力する。

また、運営の主体はどことが当た
るか等についても、関係機関とよ
く協議し、社会復帰への目的が果
たせるよう検討していく。

①全国の完全失業者は二百百二十三万人といわれ、潜在失業者は二百万人とも三百万人ともいわれ、雇用不安はますます深刻になってい

本市も例外でなく、このような事態に直面した今こそ総力をあげて、企業誘致に取り組み働く者の職場を確保し、雇用不安を解消することが急務であると思う。

企業誘致の障害となっている理由はいろいろあると思うが、まず課税問題と地価が高いということである。これについて市長の所見を伺いたい。

②人口の地方分散、産業教育機関の再配置等、国の方針が出されているが、これの最大の条件は交通網の整備だと思ふ。また、六十年代の貨物輸送の九〇〇は道路輸送になるといわれている。米子市は、中国縦貫高速道路と結ぶ高速道路の建設が決定され、経済圏はますます発展が予想される。

これに比べ本市を中心とする経済圏は、既存国道の部分改良に依存する状態である。鳥取市を起点とする陰陽連絡幹線道路の建設こそ急務と考えるが、市長の所信を伺いたい。

③駅高架事業は順調に進み、いよいよ十月には高架切り替えとなり市民待望の夢が実現する。同時に駅南地域にとつては画期的なスタートなるが、駅高架が開通しても高架下を南北に通する道路が完成しなくては、駅南開発はますます遅れるばかりである。

交通渋滞の緩和と、駅南開発が高架事業の大きな目的であつたと思つが、現在の状況からみるとこの目的が著しくそこなわれているとしかいえない。これに取り組む市長の所信と、連絡道路の完成時期について伺いたい。

④駅前都市改造事業により、駅前商店街は面目を一新し、近代的なビル街に脱皮した。しかし、上物を含めた都市開発の手法によるべきであつたにもかかわらず、上物を抜きにした区画整理事業により施行したため、業種競争、不当ともいえる床面積の増大、過大な設備投資、その上、不況という悪条件が重なり経営は非常に苦しいといわれている。

また、明年度あたりから借入金の元利償還が始まり、高架下には鉄道弘済会を資本とする有力店舗の進出等、前途はますます容易でないと推察されるが、行政としても実態を十分に把握し、適切な対応策を講ずるべきである。市長の所見を伺いたい。

⑤地方公共団体は不況の影響による税収入の大幅な落ち込みと、人件費の高騰、加えて多様化する行政需要により財政運営は困難を極めている。本市は幸い健全財政を堅持しながら、住民要求に対応しており敬意を表する。

他市町村のヤミ給与から端を発する財政健全化について事務次官通達をだしている。本市職員に対する給与及び退職手当の支給状況は、国が示す基準に對しどのようになっているのか。

⑥全農家をあげて反対した。米の生産調整は四百十の目標面積に対し、四百六十一の総の実績で達成率一一二強となっている。しかし、この中に基盤整備事業の休耕田が含まれており、表面的には達成されているが、この減反面積は集落を対象として割り当てられたものであり、百八十五集落のうち三分の一は未達成だとすく。来年度以降、この未達成集落に対し、罰則方式をとっていくのか、どうか伺いたい。

⑦市立若草作業所に現在十六人の方が通所し、授産作業が実施されている。運営は市補助とボランティアの応援によつて行われているが、施設は狭く、しかも老朽化し、十分な作業ができない状況である。早急に、国の助成対象となる施設に改善すべきであるが、市長の考えを伺いたい。

マイカー自粛の代替は

質問(民社党) ①交通緩和対策は、過去、当議場でも種々論議され、昨年設置された交通対策審議会はすでに審議内容を答申している。その内容を見ると、五つの項目にわたっているが、とりわけマイカー自粛が大きくとり上げられている。マイカーが生活に密着した今日、これの自粛は代替交通機関の充実が第一であり、これが不十分では多くは期待できない。

また、周辺町村の協力も必要と考えるが、今後の具体的な取り組みについて説明してほしい。

②葬儀を葬儀社に依頼して行う場合、普通二十万円から三十万円が相場で、その他の経費を加えると大きな負担となっている。先進都市では、この負担を少しでも軽減させるため、市が備える葬儀用祭壇の貸し出し、あるいは全宗派が利用できる葬儀場の設置等を行い、市民から非常に喜ばれている。福祉政策の一環として、本市でも検討する必要があると思うが、市長の考えを伺いたい。

③市街地周辺の新興住宅地域では、新たに造成される宅地がほとんど高くなり、昔から集落を形成していた地域に雨水をはじめ下水等が集中する実態となっている。こうした地域が市内各所にみられるが、近づく台風シーズンの洪水を考えると放置しておくわけにはいかないが、この対策について市長はどう考えているのか。

④六十年国体の受け入れのため

県ではいろいろ準備が進められ、各市町村の競技受け入れの話合いがされている。国体の運営は質素で実のある実施が望まれるが、受け入れに対する市長の基本的な考えを伺いたい。

市内循環バス 運行を考慮

答(市長) ①交通緩和対策の根本解決は、将来を見越して計画

している道路が完成したのちである。当面の対策として、交通対策審議会の議を経て具体的な答申を得ているが、その中のマイカー自粛について従来の方法を改め一層効果のあるものにしたと考えている。その方法は十人以上の事業所の協力を得て、これを五つのグループに分け週一回必ずマイカーを自粛願うというもので、そのためにバス専用レーンの新設、市内循環バスの運行等を考えている。

②福祉政策で「ゆりかごから墓場まで」ということがいわれるが、現在の限られた地方財源では葬儀

費用の公費負担はなかなか難しく、教育費をはじめ他の分野で公費負担しなくてはならないものが多くある。しかし、独居老人等で縁者のない人の葬儀については、社会福祉協議会など公的な機関で行うよう検討してみたいと思う。

③市街地周辺の浸水対策は、小河川の整備と下水道の整備が根本的な解決策であり、鋭意努力しているがかなりの年月を要する。したがって、現在の開発に対する行政指導は、開発地域の排水を従来の用排水路に流さないで、新たな排水路を設けること、また遊水

用水路の危険防止策を

防護さくを設置を義務化

質問(共産党) ①鳥取空港拡張ジェット化に対し、地元住民は

②建設省に対する地方公共団体の接待問題が明るみとなり、その中に鳥取県関係の資料も出されて

答(市長) ①空港整備の地元との話し合いは、現在まで何回か

議論するが、通常の公共事業に伴う負担はせざるを得ないと思う。この負担は起債措置でできると思うので、財政的に大きな影響はないと

今後の対策は、土地所有者の管理責任として防護さく等の設置を義務づけるよう指導していく。その他の地域で、児童生徒の接触の多い用水路については、自治会等と協議し遺憾のないようにする。

不信を爆発させている。市長は、地元の了解は得られるものとした前提の考え方で進められるようだが、万一、市長の思惑に反し地元合意が得られない場合、市長の意思を強引に押しつける結果になり、かねて標榜する「対話姿勢」に反すると思う。空港問題に対する市長の基本的姿勢を伺いたい。

次に、近く実施されるテスト飛行の調査結果を、住民が的確に判断が下せるよう全面的に公表すべきである。

また、拡張に伴う地元負担金は過去の経緯をみても相当なものとなり、市財政に大きな影響を与えることは必至である。どのような見通しをたてているのか。

③桜谷団地内を流れる用水路で、二歳の男の子が水死するというたましい事故が発生している。この団地は、市開発公社が造成したものであり、当初から危険は十分予知できたと思う。危険防止対策をどのように考えていたのか。また今後の対策はどうするのか。

テスト飛行結果の公表であるが、これは全資料の公表をやるよう県に申し入れるし、公表されるものと考えている。

次に事業費についてであるが、滑走路を南に二十メートル移動することを前提として、千八百メートル滑走路で七十八億円ということである。市負担については県との間で協

果たしておるところである。しかし、近年の航空旅客需要の著しい増大、さらには予想されるY S 11型機のリタイヤ等を考えたとき、飛行場の整備が必要不可欠である。

昭和五十三年六月二十四日 鳥取市議会議長 山本武富 内閣総理大臣殿 他

鳥取空港の定期航空便(東京―鳥取)の新設と空港整備に関する意見書

鳥取市議会だより